

サテライトシンポジウム

協賛 扶桑薬品工業株式会社

7月4日（木） 旭川グランドホテル 2階 孔雀の間

腸管出血性大腸菌と補体

18:30 ~ 20:30

座長 若宮伸隆

1 ユッケを原因とする腸管出血性大腸菌 O111 による集団食中毒事例

～概要とその影響～

磯部順子

富山県衛生研究所 細菌部

2 腸管出血性大腸菌感染症の病態と治療について

～HUS を中心に～

石黒信久

北海道大学病院 感染制御部

日 程 表

7月5日（金） 8：00 開場 旭川医科大学医学部看護学科棟 1階 大講義室

8:55 ~ 9:00	開会の辞 若宮伸隆
9:00 ~ 10:30	セッションA：補体活性化経路・自然免疫 座長 関根英治・中尾実樹
10:30 ~ 10:45	休 憩
10:45 ~ 11:30	セッションB：進化・系統発生 座長 遠藤雄一・宮川周士
11:30 ~ 12:00	セッションC：アジュバント 座長 遠藤雄一・宮川周士
12:00 ~ 12:30	昼食（昼食はご用意いたします。）
12:30 ~ 13:00	総会・優秀賞表彰式
13:00 ~ 14:00	招待講演：The lectin complement pathway- recognition, function and regulation 演者：Peter Garred 座長 藤田禎三
14:00 ~ 14:15	休 憩
14:15 ~ 15:15	第50回記念講演：補体シンポジウムの50年 演者：北村 肇 座長 若宮伸隆
15:15 ~ 16:05	特別講演：免疫学逍遥：Bb once comes off, never binds back to C3b 演者：瀬谷 司 座長 野中 勝
17:00 ~ 20:30	懇親会 旭山動物園・モグモグテラス

7月6日（土） 8：30 開場

9:00 ~ 10:00	ミニシンポジウム：補体系と凝固系 演者：宮田敏行・Kazue Takahashi 座長 木下タロウ・堀内孝彦
10:00 ~ 10:10	休 憩
10:10 ~ 11:25	セッションD：臨床補体Ⅰ 座長 大澤 勲・塚本 浩
11:25 ~ 11:35	休 憩
11:35 ~ 12:50	セッションE：臨床補体Ⅱ 座長 井上徳光・水野正司
12:50 ~ 12:55	閉会の辞 若宮伸隆

第 50 回補体シンポジウム・学術プログラム

第 1 日 7 月 5 日 (金) 旭川医科大学医学部看護学科棟 1 階 大講義室

セッション A : 補体活性化経路・自然免疫 9:00 ~ 10:30

座長 関根英治・中尾実樹

A-1 黄色ブドウ球菌に対する主要抗体と Mannose binding lectin は細胞壁タ イコ酸の修飾糖をエピトープとする

黒川健児¹⁾²⁾、鄭東俊²⁾、安張鉉²⁾、全有鎮²⁾、金那香²⁾、松下操³⁾、姫野勝¹⁾、李副律²⁾

¹⁾長崎国際大・薬・細胞生物薬学、²⁾釜山大・薬、³⁾東海大・工・生命化学

A-2 マンナン結合タンパク質 (MBP) はがん関連糖鎖抗原を介して結腸がん 細胞を特異的に認識する

川寄敏祐¹⁾、野中元裕¹⁾、今枝広丞²⁾、Ma Bruce Yong¹⁾、川寄伸子¹⁾、谷 徹³⁾、安藤 朗⁴⁾、
藤山佳秀²⁾

¹⁾立命館大学・糖鎖工学研究センター、²⁾滋賀医科大学・消化器血液内科、³⁾消化器外科、

⁴⁾感染応答・免疫調節部門

A-3 コレクチン CL-L1 の組織局在と分子構造に関する解析

松田泰幸、ロイニタイ、森健一郎、黄仁秀、大谷克城、若宮伸隆

旭川医大・医・微生物

A-4 Human serum amyloid P component (SAP) is a novel peptidoglycan recognition protein that induces complement-independent phagocytosis of *Staphylococcus aureus*

Jang-Hyun An¹⁾, Kenji Kurokawa¹⁾, Dong-Jun Jung¹⁾, Min-Jung Kim¹⁾, Chan-Hee Kim¹⁾,
Yukari Fujimoto²⁾, Koichi Fukase²⁾, and Bok Luel Lee¹⁾

¹⁾Global Research Laboratory of Insect Symbiosis, College of Pharmacy, Pusan National University,
Korea,

²⁾Department of Chemistry, Graduate School of Science, Osaka University, Toyonaka, Osaka, Japan

A-5 MASP-1 および MASP-3 の機能-ヒトとマウスの違いについて

高橋実¹⁾、遠藤雄一²⁾、Alexandra Antonioli³⁾、V Michael Holers³⁾、Wilhelm Schwaeble⁴⁾、
藤田禎三⁵⁾、関根英治¹⁾

¹⁾福島県医大・医・免疫学、²⁾ 福島県医大・RI、

³⁾ Division of Rheumatology, Department of Medicine, University of Colorado School of Medicine、

⁴⁾Department of Infection, Immunity and Inflammation, University of Leicester、

⁵⁾福島県立総合衛生学院

A-6 自然免疫レセプターTLR3 によって認識される RNA 構造

松本美佐子

北海道大学大学院医学研究科 免疫学分野

セッション B：進化・系統発生

10:45 ~ 11:30

座長 遠藤雄一・宮川周士

B-1 魚類寄生性カイアシ類における C3 遺伝子の進化

関口玲生、野中勝

東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻

B-2 カタユウレイボヤ C3 遺伝子の発生過程における発現パターン解析

日比野拓¹⁾、野中勝²⁾

¹⁾埼玉大・教育、²⁾東大・院理・生物科学

B-3 非定型 *Aeromonas salmonicida* 感染症（穴あき病）

発症時におけるコイ補体 C3 タンパク質の体内分布

前田佑佳、柚本智軌、中尾実樹

九州大学大学院農学研究院

セッション C : アジュバント

11:30 ~ 12:00

座長 遠藤雄一・宮川周士

C-1 ヒトにおける MUC1-C3d ワクチンのアジュバント効果の解析

太田里永子¹⁾, 神田輝²⁾, 安藤史代¹⁾, 今井優樹¹⁾

¹⁾名市大・医・免疫, ²⁾愛知がんセ・腫瘍ウイルス

C-2 CR4 サブユニットを標的とした抗がん免疫アジュバント

赤澤隆、井上徳光

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター・研究所・分子遺伝学部門

招待講演

13:00 ~ 14:00

座長 藤田禎三

The lectin complement pathway- recognition, function and regulation

演者 : Peter Garred

Clinical Molecular Medicine, University of Copenhagen

第 50 回記念講演

14:15 ~ 15:15

座長 若宮伸隆

補体シンポジウムの 50 年

演者 : 北村 肇

神戸常盤大学

特別講演

15:15 ~ 16:05

座長 野中 勝

免疫学逍遥 : Bb once comes off, never binds back to C3b

演者 : 瀬谷 司

北海道大学大学院医学研究科 免疫学分野

第2日 7月6日(土) 旭川医科大学医学部看護学科棟 1階 大講義室

ミニシンポジウム：補体系と凝固系

9:00 ~ 10:00

座長 木下タロウ・堀内孝彦

1) 凝固系・補体系の接点としての血管内皮細胞障害

宮田敏行

国立循環器病研究センター 分子病態部

2) The collectins and coagulation

Kazue Takahashi ¹⁾, Katsuki Ohtani ²⁾, Patience Moyo ¹⁾, Elizabeth Van Cott ³⁾,

Nobutaka Wakamiya ²⁾

¹⁾ Department of Pediatrics, Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School, Boston, MA, USA

²⁾ Department of Microbiology and Immunochemistry, Asahikawa Medical University, Japan

³⁾ Department of Pathology, Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School, Boston, MA, USA

セッション D：臨床補体 I

10:10 ~ 11:25

座長 大澤 勲・塚本 浩

D-1 C5 遺伝子多型による PNH 治療薬エクリズマブに対する不応性の解析

西村純一 ¹⁾、山本正樹 ¹⁾、大屋敷一馬 ²⁾、安藤潔 ³⁾、長谷昌知 ⁴⁾、柴山浩彦 ¹⁾、稲澤譲治 ⁵⁾、

木下タロウ ⁶⁾、金倉譲 ¹⁾

¹⁾大阪大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学、²⁾東京医科大学、³⁾東海大学、⁴⁾アレクシオンファーマ、

⁵⁾東京医科歯科大学、⁶⁾大阪大学微生物病研究所

D-2 OPTIMA 試験：高精度フローサイトメトリー法による GPI アンカー膜蛋

白欠損血球の検出

山本正樹 ¹⁾、西村純一 ¹⁾、細川晃平 ²⁾、杉盛千春 ²⁾、米村雄士 ³⁾、小原直 ⁴⁾、中村嘉彦 ⁵⁾、野地秀義 ⁶⁾、
七島勉 ⁶⁾、安藤潔 ⁵⁾、二宮治彦 ⁴⁾、千葉滋 ⁴⁾、川口辰哉 ³⁾、中尾眞二 ²⁾、金倉譲 ¹⁾

¹⁾大阪大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学、²⁾金沢大学、³⁾熊本大学、⁴⁾筑波大学、⁵⁾東海大学、

⁶⁾福島県立医科大学

D-3 精神発達遅滞・てんかんを主症状とする疾患：

先天性 GPI 欠損症について

村上良子¹⁾、井上徳光²⁾、九鬼一郎³⁾、高橋幸利⁴⁾、木下タロウ¹⁾

¹⁾大阪大学微生物病研究所 ²⁾大阪府成人病センター ³⁾大阪市立総合医療センター

⁴⁾静岡てんかん・神経医療センター

D-4 PD 患者由来ヒト腹膜中皮細胞における膜補体制御因子の解析

清 祐実¹⁾、水野 正司¹⁾²⁾、今井 優樹³⁾、Claire L. Harris⁴⁾、松尾 清一¹⁾、伊藤 恭彦¹⁾²⁾

¹⁾名古屋大学大学院医学系研究科 腎臓内科学、²⁾同 腎不全総合治療学、

³⁾名古屋市立大学大学院医学研究科 免疫学、

⁴⁾ Complement Biology Group, Infection, Immunology and Biochemistry, School of Medicine, Cardiff University

D-5 補体による尿細管障害における Properdin の重要性

長町誠嗣、大澤勲、鈴木日和、佐藤信之、久田温子、本田大介、島本真実子、堀越哲、富野康日己
順天堂大学・医・腎臓内科

セッション E：臨床補体 II

11:35 ~ 12:50

座長 井上徳光・水野正司

E-1 肝移植後 TMA における補体系の関与に関する検討

田中宏和¹⁾、久保田豊成¹⁾、秦浩一郎¹⁾、内田洋一朗¹⁾、影山詔一¹⁾、平尾浩史¹⁾、岡村裕輔¹⁾、
門野賢太郎¹⁾、宮川文²⁾、和田道彦³⁾、羽賀博典²⁾、上本伸二¹⁾

¹⁾ 京都大学医学部附属病院 肝胆膵移植外科、²⁾ 同 病理診断部、³⁾ アレクシオン ファーマ

E-2 ブタ敗血症モデルにおける、C1-inhibitor 投与効果の検討

今長谷尚史¹⁾、阪本雄一郎¹⁾、宮庄拓²⁾、山下和人³⁾、田村純³⁾、伊丹貴晴³⁾、石塚友人³⁾、河村芳朗³⁾、
佐野忠士²⁾、井上聡¹⁾

¹⁾佐賀大学医学部附属病院救命救急センター、²⁾酪農学園大学獣医看護学類、³⁾酪農学園大学獣医学類

E-3 視神経脊髄炎増悪時における髄液中 C5a 上昇

黒田宙¹⁾、高橋利幸¹⁾、高野里菜¹⁾、三須建郎¹⁾、中島一郎¹⁾、藤原一男²⁾、青木正志¹⁾

¹⁾東北大・医・大学院・神経内科、²⁾東北大・医・大学院・多発性硬化症治療学

E-4 臨床移植用遺伝子改変ブタ

宮川周士¹⁾、前田 晃¹⁾、河村拓司¹⁾、中畠賢吾¹⁾、上野豪久¹⁾、臼井規朗¹⁾、伊川正人²⁾、岡部 勝²⁾、
長島比呂志³⁾

¹⁾ 阪大・医・外科、²⁾ 阪大・遺伝情報実験センター、³⁾ 明治大・農・生命工学

E-5 TNF 阻害薬の作用機序と臨床効果の関連

堀内孝彦¹⁾、上田尚靖²⁾、塚本浩²⁾

¹⁾ 九州大学別府病院内科、²⁾ 九州大学免疫・膠原病・感染症内科